

外国語

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
外国語	中国語	2	3年次・I2群	選択履修

目 標		履修の条件・連絡		
必要最低限の文法及び単語を習得するとともに、発音練習を徹底し、基本的な日常会話を使えるようにする。		<ul style="list-style-type: none"> 中国語や中国文化に興味があること。 やる気があること。 		
使用教科書 (出版社)	高校生からの中国語 (白帝社)	副教材 (準備物)	中国語講師の作成する教材を、随時副教材として利用する。	
学 習 の 年 間 計 画	期	月	学 習 の ね ら い	
	1 学 期	4月	母音・子音の発音	
		5月	自分の名前及び自己紹介	
		6月	身近な単語	
2 学 期	7月	基本的な文法 ～は～です 等		
	9月	日本語と中国語の違い (同じ漢字で意味の異なるもの) (同じ漢字で書き方の異なるもの)		
	10月	発音練習 単語や文法を増やす ～したい・～が好き 等		
3 学 期	11月	日時の表現		
	12月	会話練習 買い物に使う表現 食事に使う表現 好みを言ったり、聞く表現		
	1月	発音練習		
学 習 評 価	規 準	観点	外国語表現の能力	外国語理解の能力
	手 段	積極的に授業に参加したか。	読み書きができるか。習得した表現を使えるか。	読み書き、聞き取りができるか。
	規 準	・授業中の態度	・授業中の発言・発表	・授業中の応答
	手 段	・定期考査	・定期考査	・定期考査
規 準	各学期や年間の学習状況の評価方法	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査年5回(1学期中間、1学期末、2学期中間、2学期末、年次末) 定期考査では、リスニング問題も出題する。 定期考査と平常点を2対1の比率で評価する。 平常点には授業態度、提出物の状況、小テストの結果などを含む。 		
学 習 上 の 留 意 点	<ul style="list-style-type: none"> 授業の展開にあたっては、基本的に中国語講師とのチームティーチングで実施する。 中国語会話能力、特に発話能力の育成を主としてねらいとする講座である。 予習・復習をきちんとし、ノートやプリントを期限厳守で必ず提出する。 			